

重症熱性血小板減少症候群

(Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome: SFTS)

対策資料集

(作成:愛媛県)

平成27年度「地域保健総合推進事業」
新興再興感染症危機管理支援事業班

平成25年1月30日

厚生労働省健康局結核感染症課
感染症情報管理室長

報道関係者 各位

中国で近年報告されている新しいダニ媒介性疾患の 患者が国内で確認されました

今般、中国において2009年頃より発生が報告され、2011年に初めて原因ウイルスが特定された新しいダニ媒介性疾患「重症熱性血小板減少症候群 (Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome: SFTS)」の症例が、山口県において確認されました。

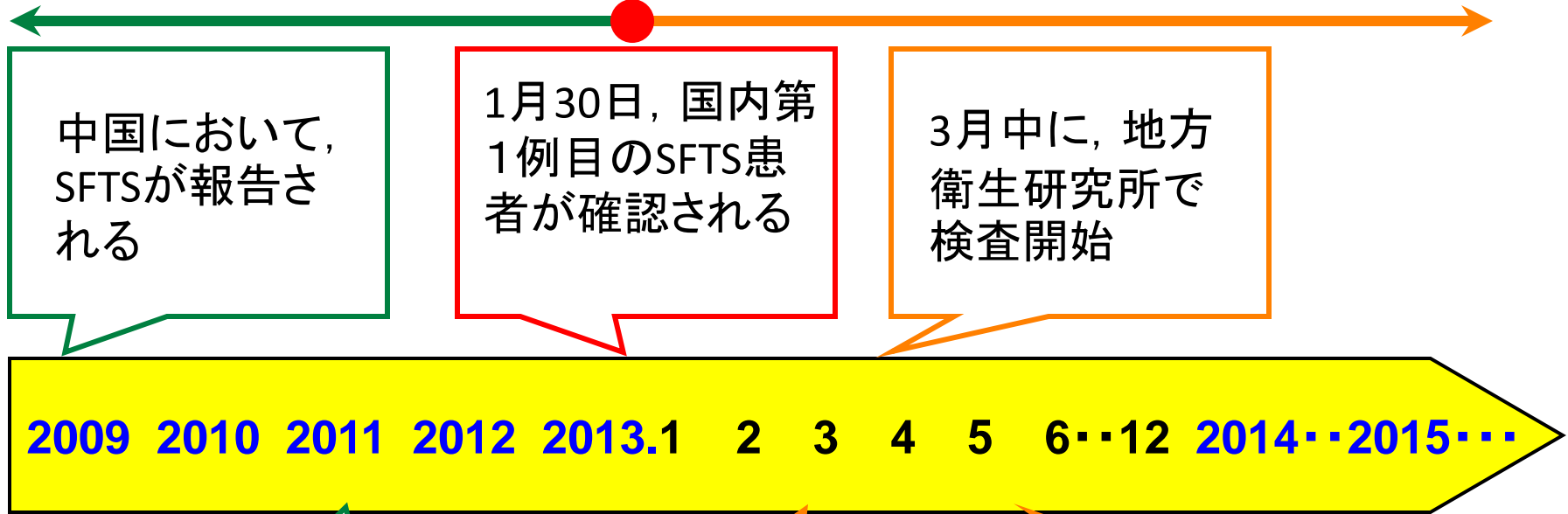
これを受けて、厚生労働省では、本疾患に関する資料を作成し、都道府県等に情報提供を行うとともに、医療機関に対して、同様の患者を診察した際は情報提供するよう、自治体を通じて協力を要請したところです。

厚生労働省では、引き続き、本疾患に関する情報収集や調査研究を実施し、適切な対応を行ってまいります。

SFTSに関するこれまでの経緯

遡り調査

前向き調査



中国において、
SFTSが報告さ
れる

1月30日、国内第
1例目のSFTS患
者が確認される

3月中に、地方
衛生研究所で
検査開始

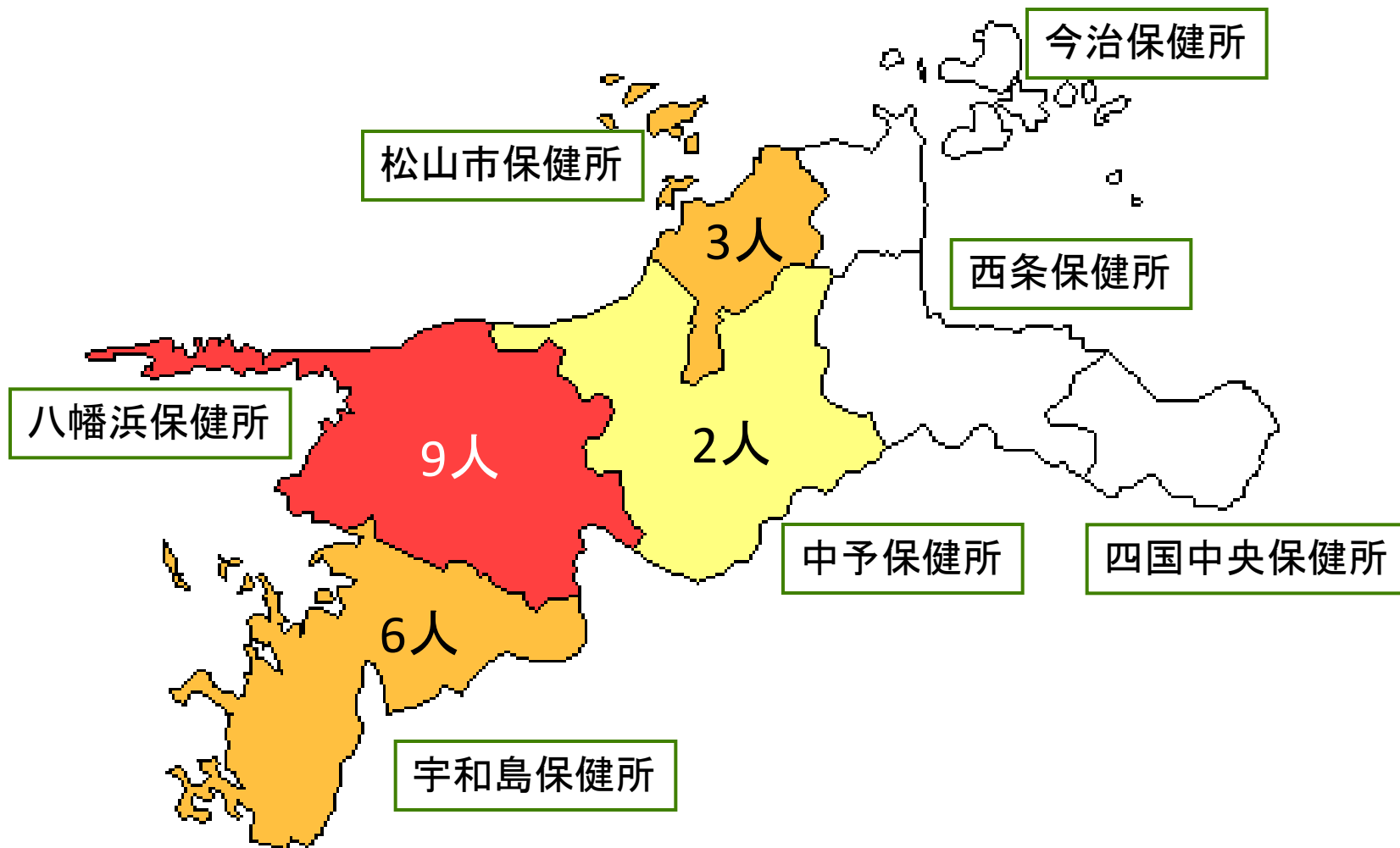
SFTSの原因ウ
イルスが特定
される

2月13日、四類
感染症に指定

3月4日、政令
施行、以降、全
数報告対象に

5月、厚労科学
研究班立ち上
げ

SFTS患者の愛媛県内居住区 (保健所管内)



愛媛県における20名のSFTS患者の概要

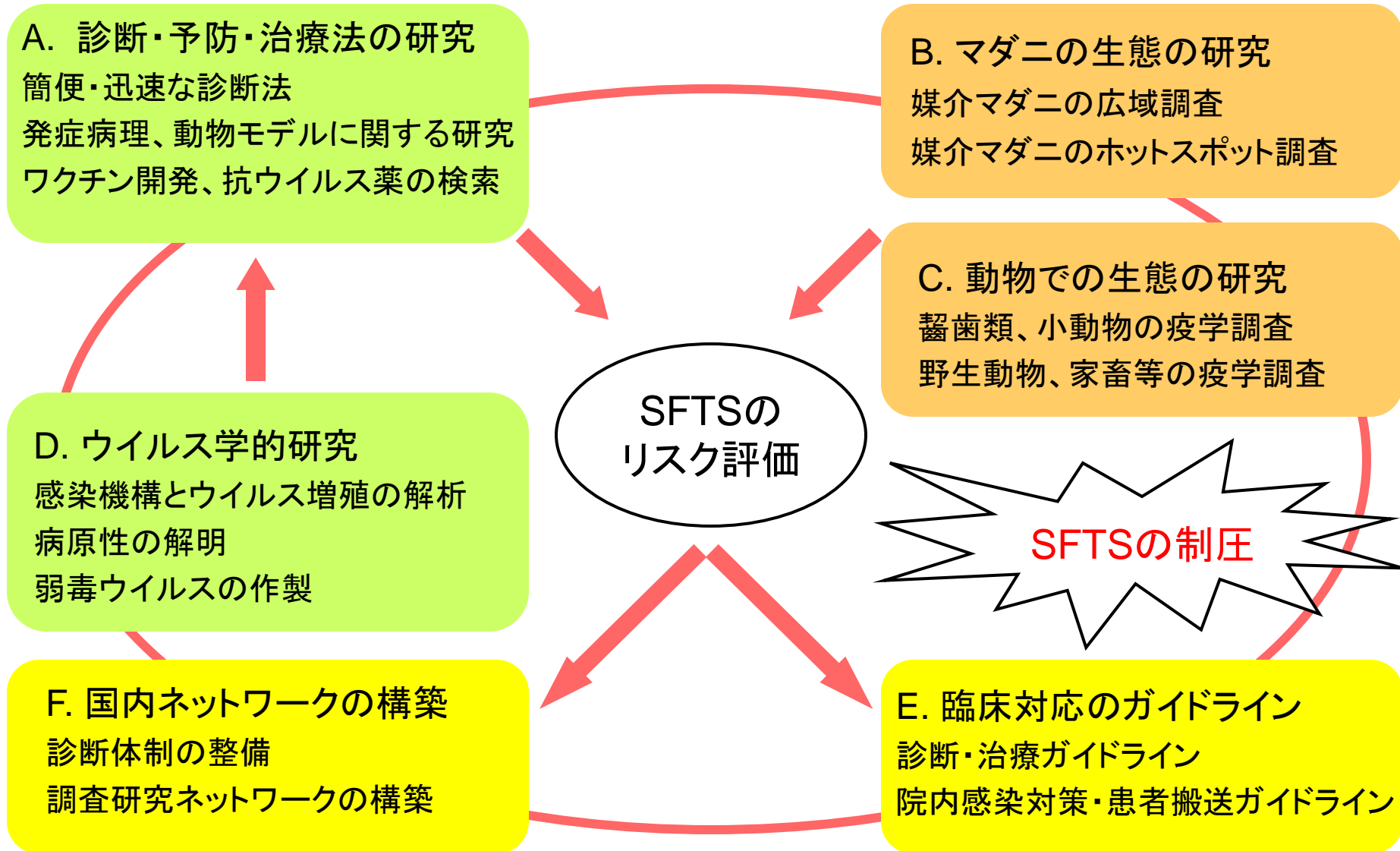
5	90代	F	5月	+	+	D
6	70代	F	5月	+	+	
7	70代	M	6月	+	-	
8	70代	F	7月	-	-	
9	90代	M	8月	-	+	D
10	90代	F	2014年4月	+	-	
11	80代	F	4月	-	+	(D)
12	60代	F	5月	+	-	
13	60代	M	6月	+	+	
14	60代	F	6月	+	-	
15	80代	F	7月	+	+	D
16	80代	F	7月	-	-	
17	70代	F	8月	-	+	D
18	70代	M	8月	-	+	D
19	50代	M	8月	+	+	
20	50代	M	2015年4月	+	-	

D 死亡、(D) SFTSで入院したが同疾患からは回復し別の原因で死亡

D 死亡、(D) SFTSで入院したが同疾患からは回復し別の原因で死亡

SFTSの制圧に向けた総合的研究

厚生労働省科学研究費(平成25~27年度)



愛媛県におけるSFTS対策

1. 医療従事者・感染症対策担当者等を対象に研修会を実施
2. 保健所等と連携して地域住民の教育・啓蒙を実施
3. 感染源であるマダニや野生動物の対策



科学的根拠

SFTSの制圧に向けた総合的研究

厚生労働省科学研究費補助金研究(平成25~27年度)

衛生環境研究所・保健所の取り組み (研修会・講習会)

- 期間：平成25年4月～27年9月まで
- 研修会実施主体：愛媛県内の保健所、
衛生環境研究所
- 対象：農業従事者他
- 実施回数：43回
- 延参加人員：4,048人

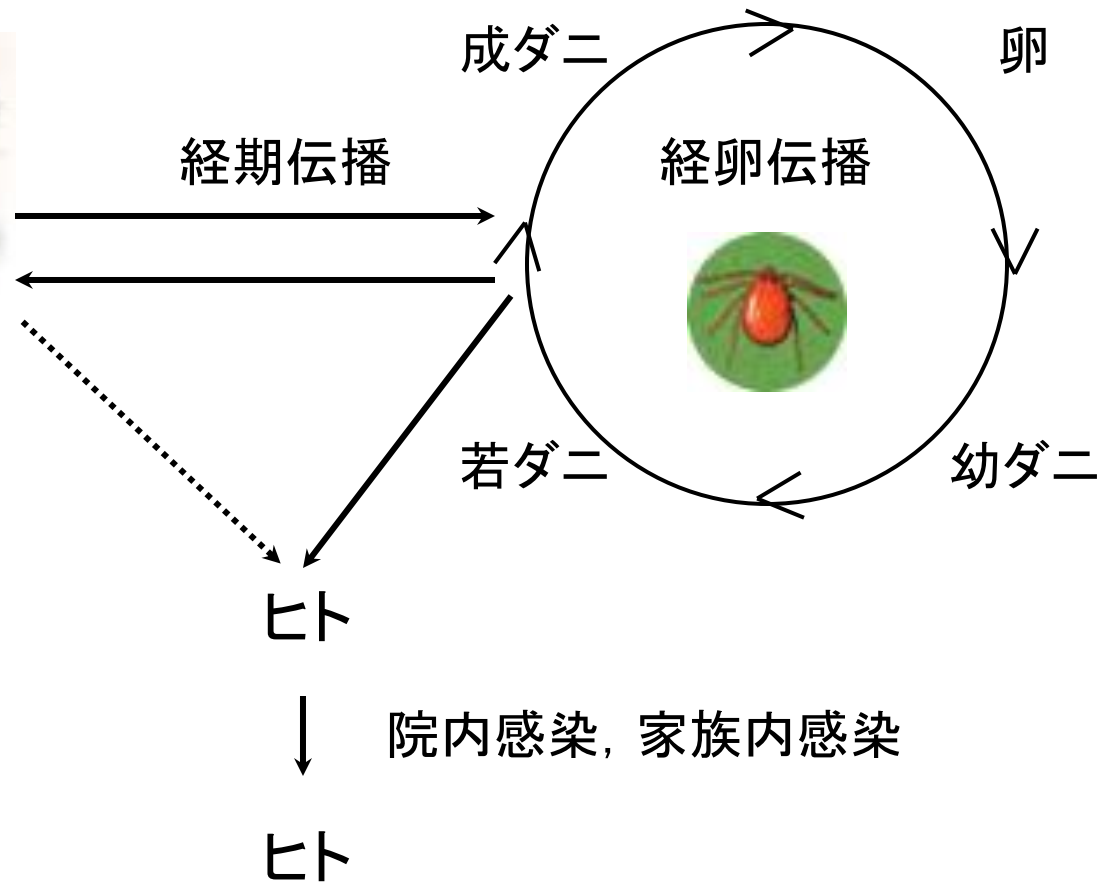
市町広報誌への掲載依頼

No.	日時	区分	対象	掲載結果
1	H25.4.9	八幡浜保健所	管内市町	管内全市町で掲載
2	H25.6.10	四国中央保健所	四国中央市	四国中央市の広報誌に掲載されていた
3	H25.6.10	西条保健所	西条保健所管内市町	西条市・新居浜市の広報誌に掲載されていた
4	H25.6.10	中予保健所	中予保健所管内市町	管内全市町の広報掲載7月号(久万高原町は依頼前に4月号掲載)
5	H25.6.11	今治保健所	管内市町(今治市、上島町)	広報今治7月15日号、広報かみじま7月号 掲載
6	H25.6.12	宇和島保健所	宇和島保健所管内市町	鬼北町HP掲載
7	H26.3.12	八幡浜保健所	管内市町	管内全市町で掲載
8	H26.4.25	宇和島保健所	管内市町	管内全市町広報掲載(6月号)
9	H26.4.28	中予保健所	管内市町	砥部町6月号広報掲載 東温市、松前町7月号に掲載、更に健診時注意喚起をチラシで配布 久万高原町 回覧で注意喚起について全戸通知
10	H26.5.1	今治保健所	管内市町(今治市、上島町)	広報今治(6/15)、広報かみじま(7月号)「注意喚起」掲載
11	H26.5.8	四国中央保健所	四国中央市	四国中央市の農業振興課HPに掲載された
12	H26.9.5	八幡浜保健所	管内市町	
13	H26.9.8	宇和島保健所	管内市町	
14	H26.9.9	西条保健所	管内市町	
15	H26.9.9	中予保健所	中予保健所管内市町	砥部町の10月号の広報に掲載予定。また、集会等でリーフレット配布準備
16	H27.2.23	八幡浜保健所	管内市町	
17	H27.4.20	宇和島保健所	管内市町	宇和島市:6月号広報・ホームページ掲載 鬼北町:子育て通信「ほくほく通信」掲載、猟友会健康教育実施 愛南町:6月号広報・ホームページ掲載
18	H27.4.28	四国中央保健所	管内市町	管内市に対し、注意喚起の広報掲載依頼
19	H27.4.28	今治保健所	管内市町	集会等でリーフレット配布
20	H27.4.28	中予保健所	管内市町	管内市町に対し、注意喚起の広報掲載依頼
21	H27.5.1	西条保健所	管内市	管内市へ掲載依頼:7月号又は8月号に掲載予定とのこと
22	H27.5.1	八幡浜保健所	管内市町	管内市町に対し、注意喚起の広報掲載依頼

SFTSウイルス感染経路

マダニ - 哺乳類サイクル

マダニ - マダニサイクル

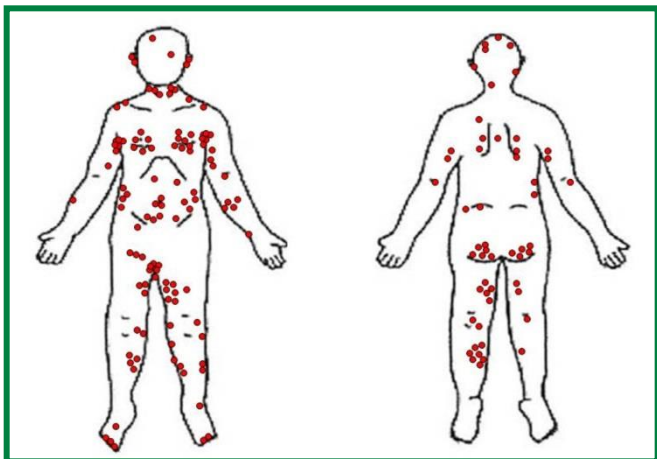


パンフレット作成・配布：野外活動時の服装例

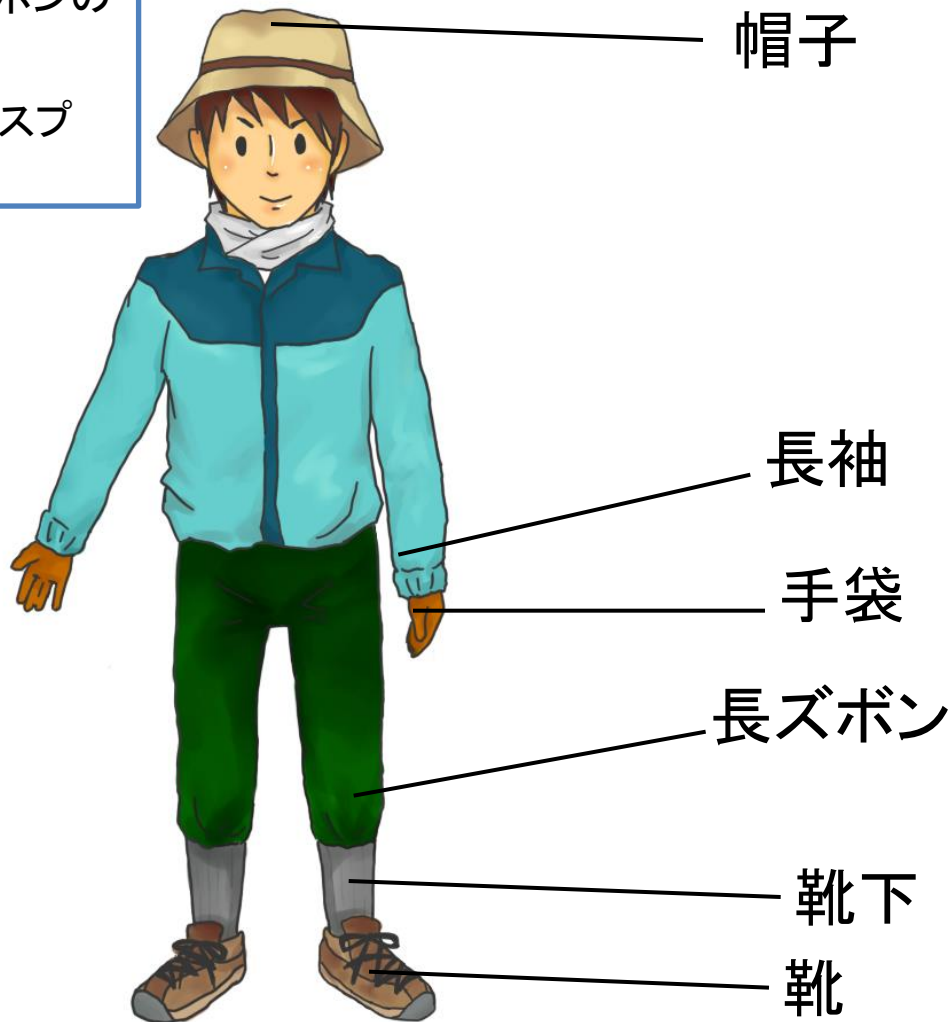
首回り, シャツ袖口, ズボンの裾などの隙間をふさぐ

襟, 袖, 裾などに, 防虫スプレーを噴霧

マダニ人体刺咬部位



(Mahara Hosp., Tokushima, Japan)



by R. Kikuchi

マダニの採取について(採取期間・採取場所など)

厚生労働科学研究班:「SFTSの制圧に向けた総合的研究」班

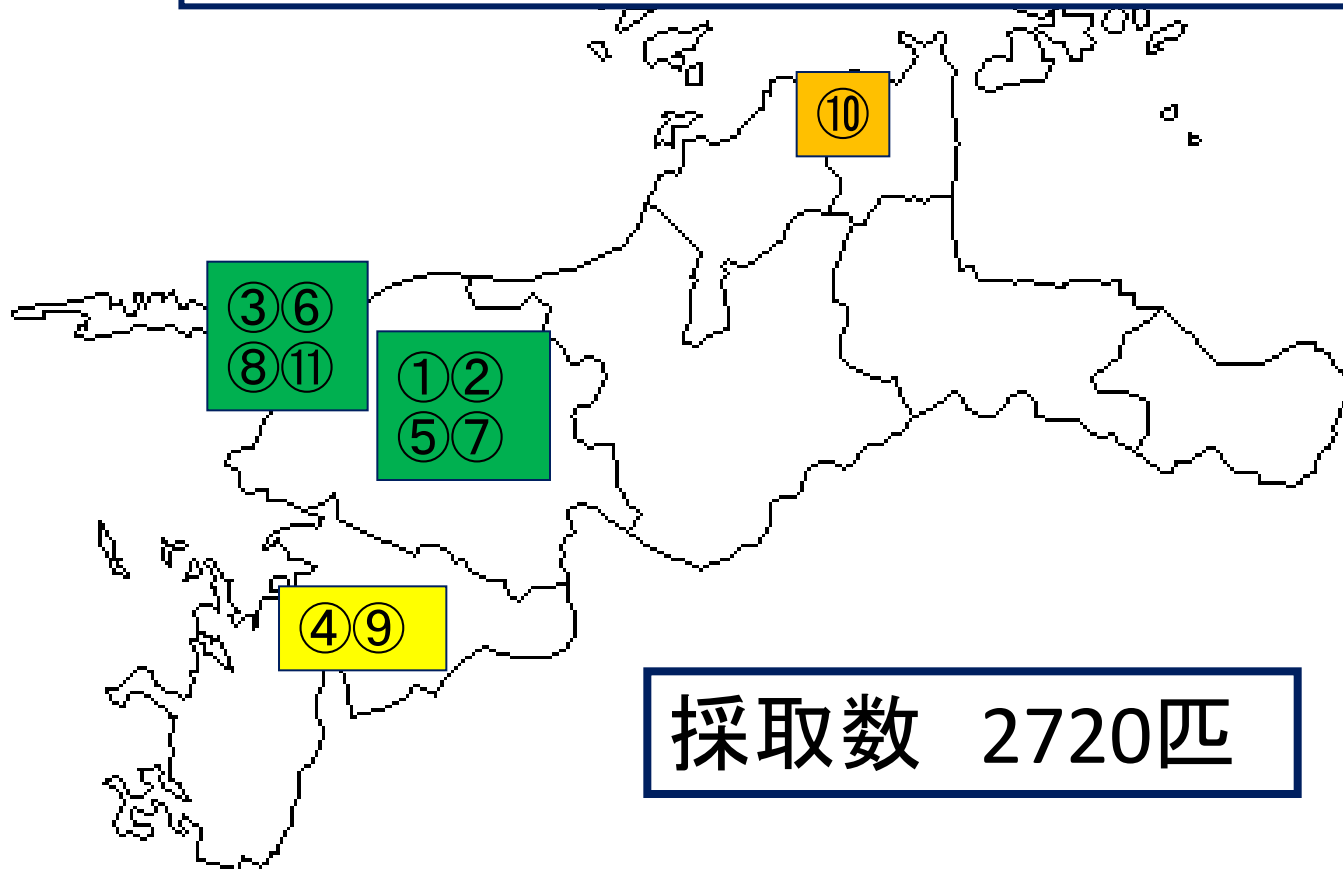
マダニ採取 : 愛媛県立衛生環境研究所

マダニ分類 : 愛媛県立衛生環境研究所

マダニの分類確認: 馬原アカリ医学研究所

SFTSV遺伝子検査: 国立感染症研究所 獣医科学部

採取期間: 2013年11月～2014年7月



採取数 2720匹

愛媛県での野生動物等の抗SFTSV抗体保有状況

動物種	実施・協力機関	頭数	陽性数	陽性率	
				愛媛県	全国
イノシシ	八幡浜保健所 衛生環境研究所	40	10	25.0%	4.6%
ニホンジカ	宇和島保健所 衛生環境研究所	20	4	20.0%	23.2%
野外飼育犬	西条保健所 八幡浜保健所 動物病院	33	3	9.1%	8.9% (猟犬)
収容犬	動物愛護センター 松山市保健所	14	2	14.3%	

血液検体の保管・管理は衛生環境研究所
抗SFTSV抗体価は感染研獣医科学部で測定

地域住民の抗SFTS抗体保有調査

患者が多い南予地区を中心に抗体保有率(感染歴)の把握(694人から採血)

国立感染症研究所と共同で、感染・発症のリスク因子を解析

期待される効果



- 患者多発地域への重点的な啓発と予防意識の向上
- マスコミへの情報提供を通じた県全体への波及効果
- 科学的根拠に基づいた予防啓発の実施

マダニ感染症

県、抗体保有率調査へ

全国初 中南予 660人採血

マダニにかまれて感染する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)による県内の死者数が全国最多となる中、県は10日、中南予の660人を対象にウイルスに対する抗体の保有率調査を国立感染症研究所(東京)と始めると発表した。

SFTSの抗体保有率は現在、不明とされており、感染や発症の傾向を探って予防対策に役立てる。県によると、住民に対するSFTSウイルス抗体の保有率調査は全国で初めて。

県健康増進課によると、SFTSは2011年に初めて特定された新種のウイルスを保有するマダニにかまれると感染。発熱や消化器症状が主で、重症化すると死亡することもある。根本的な治療法は確立されていない。

調査は県内で確認された患者21人の傾向から、農業に従事する50歳以上の南予600人、中予60人が対象。7月中旬から採血し16年3月に結果を公表する。

SFTSウイルスに対する抗体の有無から過去に感染したかどうかを調べ、年齢や職業、居住場所、既往歴、マダニ刺咬(しこう)歴などを聞き取り、重症化した患者との比較などから因果関係を解析する。

県は「新しい病気で、特徴や重症化の要因が分かれれば、予防対策にもつながるのでは」と期待している」と説明。患者はマダニが活発に活動する4〜8月

る際、長袖を着用し肌の露出を避けるといった予防方法を呼び掛けている。

(丸岡裕美)

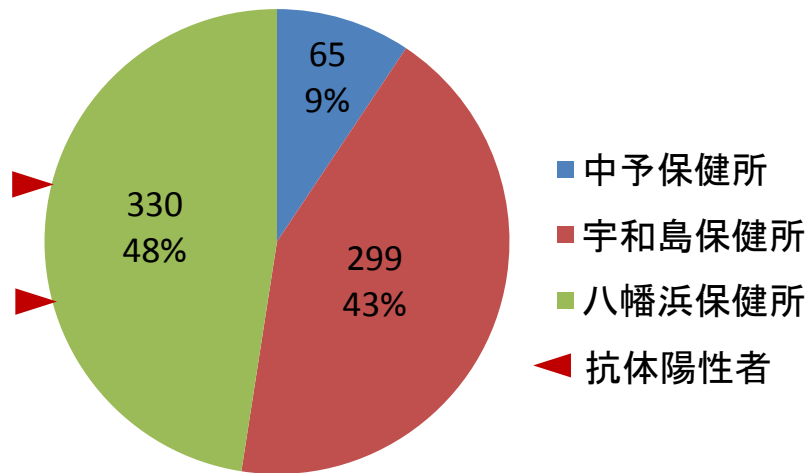
SFTS 国内確認状況

府県	患者数	うち死者数
三重	1	0
京都	1	0
和歌山	2	0
兵庫	2	1
島根	1	0
岡山	4	1
山口	13	3
広島	11	5
徳島	10	3
香川	0	0
愛媛	21	8
高知	16	3
福岡	4	2
佐賀	3	2
長崎	7	2
熊本	5	2
大宮	6	1
分岐	23	8
鹿児島	11	3
計	141	44

※6月28日現在、県まとめ

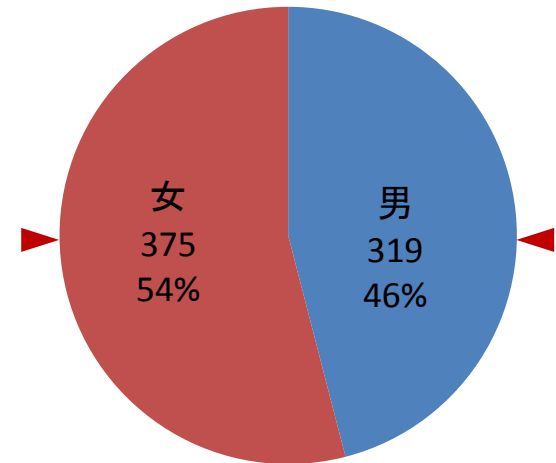
調査対象者の概要（保健所別、性別）

● 保健所別対象者数 (n=694)



● 抗体陽性者は八幡浜保健所管内在住者2名

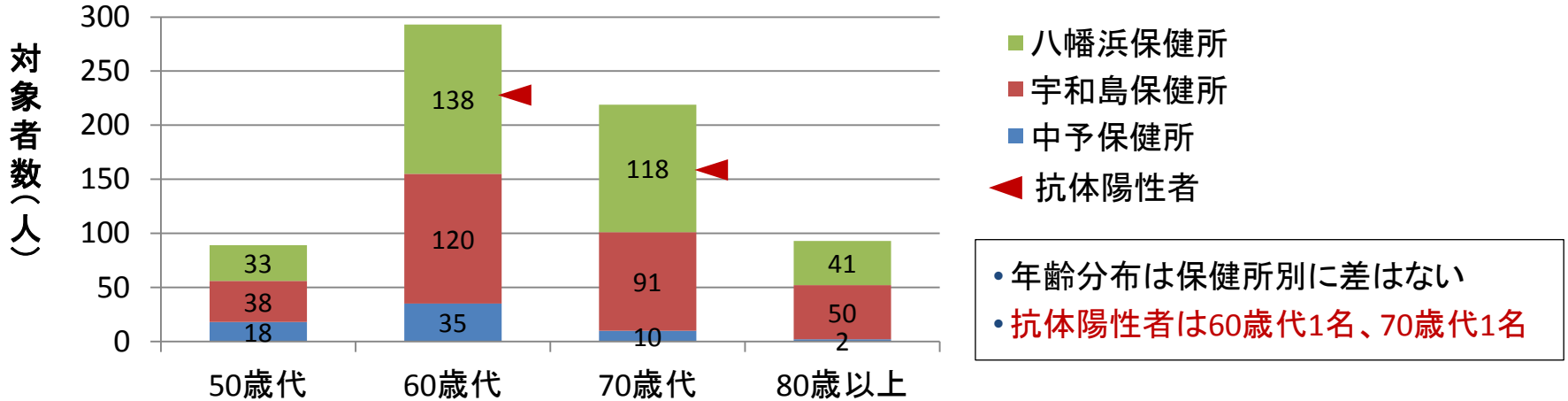
● 性別 (n=694)



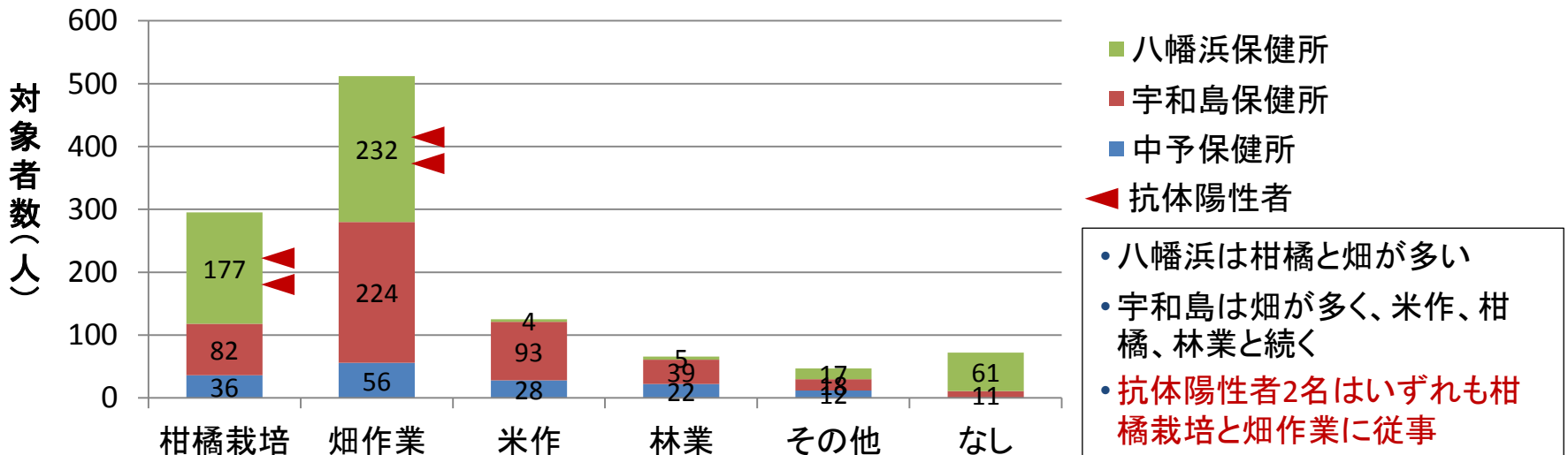
● 抗体陽性者は男性1名、女性1名

調査対象者の概要(年齢分布、農林業従事歴)

● 年齢分布(n=694)



● 農林業従事歴(n=693、複数回答)



抗体調査結果の公表 (愛媛新聞 H28.1.13)

- 八幡浜保健所管内在住
- 60歳台男性と70歳台女性
- 農業従事者
- マダニ刺咬歴あり(男性)、不明(女性)

マダニ感染症 抗体陽性2人確認 県中南予の農林業者調査

マダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関し県は12日、中南予で農林業に従事する50歳以上の694人を対象に国立感染症研究所(東京)と実施した全国初のウイルス抗体保有調査の結果を公表した。医療機関から届け出た抗体保有者2人を除いて、抗体は保有していない。今後、今後の詳細な解析で有効なワクチン開発につながる可能性があるという。陽性率は0.29%と限定される。264人(38%)にマダニ刺咬歴あり(うち抗体陽性者1人)と、420人(61%)に刺咬歴なしと判明した。調査は昨年7、8月、保健所管内別で中予65人、八幡浜330人、宇和島299人に実施。全体で男性319人、女性375人。抗体陽性者2人はともに八幡浜保健所管内でかんきつ栽培、畑作業に従事していた。60代の男性は刺咬歴あり、2年前にSFTSのような口のしびれや発熱症状で入院したが、感染は確認されなかった。一方、70代の女性は抗体は保有していたが刺咬歴は不明。県は「感染しても発症しない特異なケース」として発症の解明につながることを期待している。2011年に初めて特定された新種のウイルスを持つ。根本的な治療法は確立されておらず全国で47人が死亡。愛媛は患者21人(うち死者8人)で宮崎の患者28人(うち死者9人)に次いで多いが、昨年の患者は1人にとどまった。

調査対象者のマダニ刺咬歴

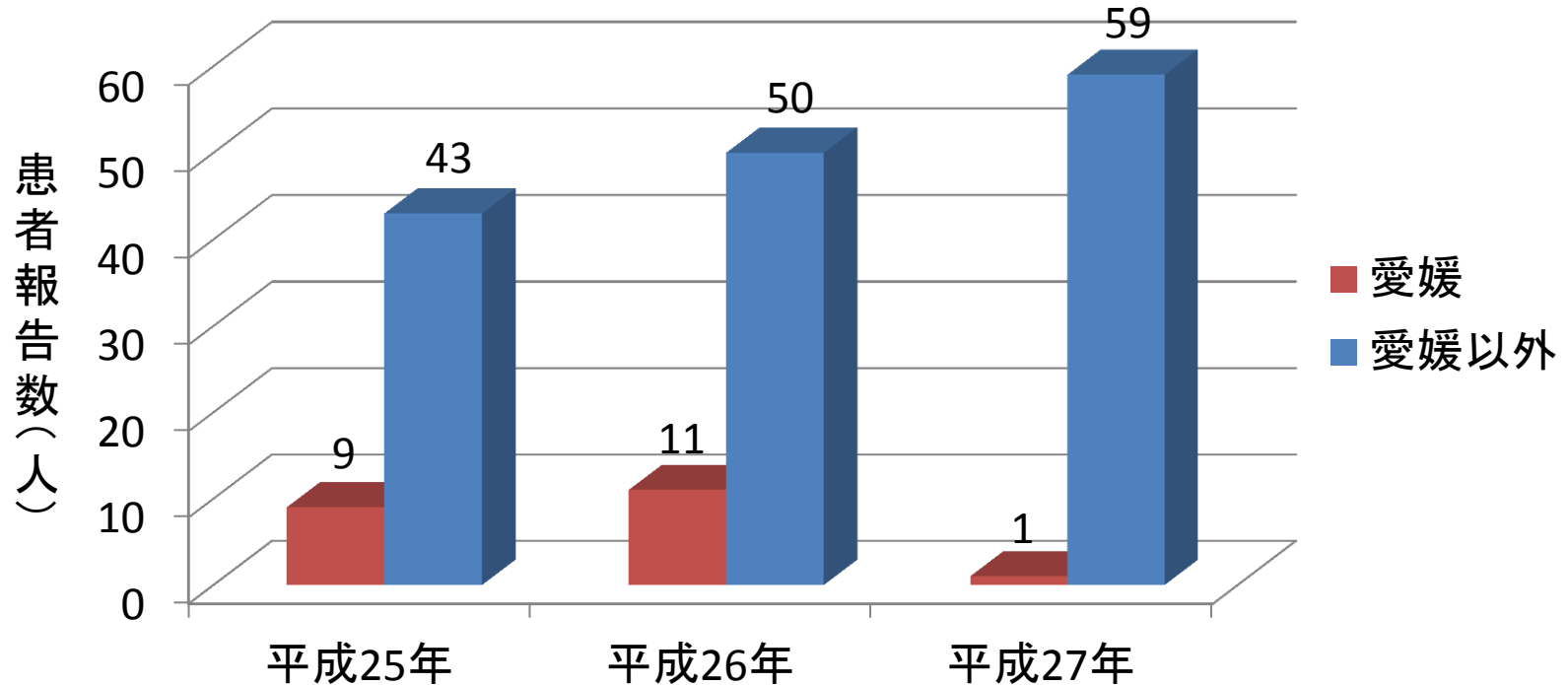
不明 9人 (うち抗体陽性者1人)	1%
刺咬歴あり 264人 (うち抗体陽性者1人)	38%
刺咬歴なし 420人	61%



住民が採血に協力したSFTSウイルス抗体保有調査
—2015年8月7日、伊予市市場

(長谷川悠介)

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 患者数の推移



- **愛媛は平成27年に激減** (25年9人⇒26年11人⇒27年1人)
都道府県別年間報告数 1位 1位 13位
- **全国(愛媛以外)は増加が続く** (25年43人⇒26年50人⇒27年59人)
- 引き続きマダニに咬まれないように注意が必要

愛媛県におけるSFTS健康危機管理体制

